

やまゆり ニュース vol.43

2024
6

麻生市民交流館やまゆり



藤



バラ



石楠花



アジサイ

町内会回覧の左綴し対応のため

今月号から **横書き** になります

こちらから開いてね



私事ですが、趣味で四季の花や緑(紅葉)の写真を撮影しています。

若いころには深まりゆく秋の風情こそしみじみとした味わいがあり、静かな感動が生まれそうに思っていたのですが、歳を重ねるにしたがい華やかで生き生きとした春の景色にこそ心を動かされるようになって参りました。したがって、この春の季節に記事を書く今月号は、ふだんより気分も華やぐというものです。

ストック写真から、季節を代表する花や緑の写真を毎号掲載していますが、発行時期が毎号やや微妙なので思い通りの写真が見当たらず、慌てることも。ただ、思い通りのカットが見つからなければ、改めて撮影するという最終手段があるわけですが、これが時を同じくして決めなければならない「麻生市民交流館やまゆり」の自主企画事業となるとそう簡単ではありません。

自主企画の催事の旗振り役を務めてくれた方々も高齢化の波には勝てず、一人抜け、二人抜けと表舞台から去って行かれると、どうしても継続開催が難しくなる催事も出てきます。とくに芸能関係催事には監督役の力に負うところが大きく、継続に困難を極めるケースが少なくありません。

そうした中で、最後まで悩んだのが12月に開催予定の「歌声喫茶」でした。

まず歌唱の指導者が継続困難となってしまい悩みましたが、関係者のご協力もあって後継者の推薦を頂戴することができました。なにしろコロナ禍でも開催を熱望された根強い人気のある催事なので、まずはほっと致しました。後継指導者が決まると、一度は音楽催事の監督リタイアを決めた先輩がもう一度復帰すると声を上げてくれ、めでたく「歌声喫茶」継続開催の目的が立ったという次第です。

これからも継続と変化をうまく按配しつつ、「やまゆり」の催事にこだわって行きたいと思います。

認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター
理事長 中山正夫



麻生市民交流館やまゆり 稼働状況の推移

年度	会議室利用回数		利用者数 (人数)	利用登録 (団体数)
	平日(夜間)	土日祝		
令和5	801(230)	456	14,087	729
令和4	763(201)	415	12,086	707
令和3	629(104)	334	8,132	707
令和2	619(155)	145	5,316	749
⋮				
平成20	874(118)	149	16,821	421

徐々に利用は増加していますが、平日夜間利用が低迷しています

やまゆりニュース vol.43 目次

- 2面 **A** 麻生
麻生仮設事務所の人々ー川崎市市民ミュージアムー
- S** 知っていますか?
知っていますか?YouYouクラブ

- 3面 **A** 遊びを軸に
みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園へ
- C** 大谷のグローブ
近隣の小学校での使われ方

- 4面 令和6年度「地域コミュニティ活動支援事業」



麻生仮設事務所の人々―川崎市市民ミュージアム―

川崎市市民ミュージアムの麻生仮設事務所が、上麻生に置かれて8か月が過ぎた。同事務所には展示機能はなく、主に紙資料等の被災収蔵品の応急処置作業のほか学芸員が学校に出向いて行う教育普及授業、他施設やオンラインによる企画展などの各種企画・調整が行われている。

そんな業務を担う同事務所には、川崎市役所職員で構成する企画調整担当、収蔵品修復調整担当のほか、受託事業者の総務部門担当、広報部門担当、教育普及部門担当、学芸部門担当など6つの部署がある。そんな方々に、出勤して最初に行うことを尋ねると、磯崎収蔵品

修復調整担当課長は「セキュリティ関係の確認です」と語る。他方、押田企画調整担当課長は「電気関係です。劣化防止のため被災品を冷凍、冷蔵保存しているので、電気関係のトラブルは大問題です」と語る。

修復作業は、「文化遺産防災ネットワーク推進会議」を構成する国立文化財機構、国立美術館など10団体を中心に、神奈川県博物



固着した資料を破損しないよう慎重に剥離する。根気と集中力の世界

館協会、学校法人東海大学ほか7団体を含む延べ22,808人(令和5年12月31日現在)の専門家など多数の人々の協力により、現在も続いている。

なお、被災品修復のための寄附については、同ミュージアムまで問い合わせを(☎044-712-2800)。2千円を超える寄附は寄付金控除の対象となる。



開被・洗浄後の資料乾燥。エアストリーム乾燥法採用で、大量でも迅速に



知っていますか？ YouYouクラブ

毎週月・水・金の放課後、片平子ども文化センター隣の地域訓練室に地域の障がいのある青年や子どもたちが集まってくる。YouYouクラブの活動に参加するためだ。

障がいのある人々も地域で当たり前前に音楽を楽しめるように、と志を同じくしたメンバーが立ち上げたYouYouクラブ。現在80名ほ



放課後みんなで音楽を楽しむ。生き生きした表情が素晴らしい

どの障がい者が登録している。

YouYouクラブの歴史は長い。1999年にはじまり、今ではプロの音楽家や舞踏家のほか、手話、弾き語りの名人など多彩なメンバー揃いとなった。メンバーたちは障がい者の支援だけでなくYouYouクラブの活動を広く知ってもらいたいとの願いから、一般の団体のお楽しみ会の企画にも応じてくれる。

先日このクラブを見学させてもらった。驚くほどたくさんの楽器や小道具を持っている。チーフの清水優(まさる)さんいわく、どんな団体からの要望にも即対応できるためにだという。長年かけて培ってきた豊かな経験から生まれるお



手作りお楽しみ会。小さな音楽会から大きなXmas会まで要相談

しゃべりや即興の音楽をぜひ楽しんでもらいたい。

【申込先】 YouYouクラブ

住所：麻生区栗木2-2-1

電話番号：044-281-3536

費用：交通費程度をご負担いただくと助かります



みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園へ



公園について気になっていること、公園でやってみたいことなど、自由に話をする

それは麻生区の場合、「王禅寺北第6公園」(王禅寺西4丁目)で、3月20日(水・祝)に行われた。題して「イドバタカフェ」。

参加費無料。「飲みものを飲みながら、これからの公園の使いこなしについてお喋りしませんか?」というもの。近隣の親子連れ45名が参加。子どもたちは用意された

シャボン玉などで遊ぶなか、「公園の現状や課題、今後の公園づくりに向けた提案」など、気軽に話してもらう。

そして、「何かきっかけがあれば協力したい」「子どもたちと地域が交流できる活動がしたい」という声をもらい、4月21日(日)、同じ公園で、今度は「みんなでやってみよう」として、「イドバタパークデイ」が設けられた。19名が参加。「公園のお掃除DAY」として、最初にゴミ拾いを行い、そのあと「車止めのペンキぬり」が行われた。

本事業の趣旨は「みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園へ」で、自分たちの公園は、自分たち

できいにしようの実現に向けて、宮前区、多摩区の公園でも同様な取り組みが行われた。

川崎市では「公園の持続的な管理運営を行っていくには、地元の方々が公園に関心を持ち、係わっていただくことで、管理の新たな担い手を増やし、取り組んでいきたい」としている。



さびを最初に落としてから、車止めにペンキをぬる子どもたち

問い合わせ:(川崎市)建設緑政局緑政部みどりの事業調整課 ☎044-200-1202



近隣の小学校での使われ方

大谷選手が全国2万の小学校に贈ったグローブ。新年早々、麻生区の小学校にも3個ずつ「野球しようぜ!」と書かれたカードが添えられて届いた。その後の様子が気になり、柿生小学校など近隣の10校ほどに問い合わせた。各校とも全校集会で披露したあと、各クラスに回して触れさせ、希望者が

放課後に使用した学校もあった。

さて、新学期が開始早々のため、多くの学校は今後の扱いを検討中。真福寺小学校は月1回のクラブ活動の授業のうち球技のクラスで使用するが、グローブが3個しかないので使いづらい。なお、その他の使い方については、校内活動を企画する運営委員会の児童が

検討すること。

届いたグローブには、「野球を通して、元気に楽しく過ごしてもらえたら嬉しい」、「このグローブを使った子ども達と、将来野球ができることを楽しみにしている」という手紙も入っていたが、大谷選手の思いが叶うことを願う。



右と左利き用グローブ(大谷と同じnew balance製)と「野球しようぜ!」のカード



3人が投げ合い、ほかの児童は見守る(真福寺小学校での様子)



ナイスキャッチ。将来有望?(SNSより)

6 団体が採択されました！

4月12日の審査会を経て、令和6年度として6団体が採択されました。新しいコミュニティができることを期待しています。イベントなどの開催にあたってはやまゆりホームページ掲載や、チラシなどが区内に配架されます。多くの方の参加をお待ちしております。



かわさきミュージックチャレンジ

誰でもチャレンジコンサート in あさお

障がいの有無に関係なく人との繋がりを音楽を楽しむことにより、出演者・来場者で、一緒に楽しむことにより一体感をつくっていく。

特定非営利活動法人 岡上アグリ・リゾート

岡上鼓手鞠「子どもの和太鼓体験」

川崎市市政100thを機に新たに和太鼓団体を組織、和太鼓を通じて出会った仲間たちと、思いっきり自己表現しながら地域の活性化にも注力したい。

市民紙芝居・あさお

紙芝居 de 地域ふれあい広場

日本独自の文化である「紙芝居(出版紙芝居)※戦後につくられ、公共図書館などに置かれている」を通じ、観客参加型にて民話、物語などを演じることにより、演じる側と観る側との交流を図り、コミュニケーション作りを目指す。

アートロジ麻生

アートロジ 一片平及びアートロジの多展開

片平川の遊歩道脇のコンクリート擁壁に設置された6脚のポスター用フレームを道行く人々がアート作品を楽しんでもらうスペースとして開放する。展示する作品は地元に関連するもの、区民から公募したもの、地元の作家のものとし、この一画が地元人々の心の交流の場となることを目指す。

かたひらほっとカフェ

地域コミュニティを強化するための講座・交流会 (地域団体・個人との連携)

地域住民同士や世代を超えた交流するために「同じ時間を過ごす場所」を「住んでいる地域」で提供する」ことにより、お互いへの理解を深める。

- ①パステル画教室 ②ポッチャ&ビジョントレーニング ③さぼり筋トレーニング等を実施する。

健康麻雀教室ぴーす

健康麻雀教室の運営 (初めての麻雀をする方対象教室)

手積み麻雀卓を使用した「健康麻雀」は「外出と交流」「心の健康」そして更に「脳の活性化」に貢献できるメリットが沢山あります。

年齢に関係なく親しい仲間になって楽しめるのです。誰もが参加しやすい教室を運営します。

麻生市民交流館 やまゆり



ホームページ更新中 ▶▶▶



開館日	月～金 9:30～17:00 平日の夜間 ～20:15 ※土・日・祝日も予約をすれば利用可
休館日	年末年始、施設点検日
アクセス	小田急線「新百合ヶ丘」駅南口から徒歩4分
住所	〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5
TEL	044-951-6321

